

まちづくりチャレンジ協働事業補助金交付申請書

2025 年 4 月 9 日

NPO 法人

恵庭市市民活動センター運営協議会

理事長

様

団体名 特定非営利活動法人おはな

代表者名 石上 一美

住 所

電 話

恵庭市まちづくりチャレンジ協働事業補助金の交付を受けたいので、恵庭市まちづくりチャレンジ協働事業補助金交付要綱に基づき交付された補助金の交付に関する事務手続き要領第4条の規定により関係書類を添えて次のとおり申請します。

協働事業の名称	居場所づくり Ohana つながりサポート事業		
協働事業費の総額	130,000 円	補助金交付申請額	100,000 円
事業実施団体数	☒ 単独 ☐ 複数（団体数 ）	本事業での提案回数	1 回目
協働する担当課	保健福祉部 福祉課 担当者： 白石 聡史 （内線 2962 ）		
提案事業の内容	実施期間 2025年 4月 1日から 2026年 2月28日まで 【居場所づくり】 本事業は、恵庭市内で孤独や孤立を感じている方々に向けて、多様な「居場所」を提供し、地域全体で支え合う仕組みを築くことを目的としています。障がいの有無や年齢、背景を問わず、誰でも参加できる居場所を複数設けることで、人と人とのつながりを深め、安心して過ごせる場を提供します。また、地域社会の理解を広げるための講演会を開催し、支援の輪をさらに広げ、地域全体の支援力を高めることを目指します。 ① 居場所ふれあいサロンおはな すべての市民が参加できる交流の場として、障がいの有無に関係なく、子どもから大人まで誰もが参加できる居場所を提供しています。多世代が集い、交流を深め、地域コミュニティの一体感を高めることを目指します。 ② とともにカフェ ～依存症の回復を支える人たちの集い～ 依存症の問題を抱える方のご家族、パートナーや友人など、身近で回復を支える人たちが対象のクローズドな居場所です。悩みや不安を安心して語り合える空間の中で、支え合いや学びを通じて、孤立を防ぎ、心のケアや情報の共有を行います。依存症の種類を問わず、同じ立場の人同士がつながることで、地域での相互理解と支援の輪を広げます。事前申込制により、安心と信頼を大切に運営します。 ③ 小中学生の居場所「ひみつきち」 & 高校生・大学生の居場所 地域の小中学生を対象にした居場所「ひみつきち」を提供します。この居場所では、高校生や大学生がボランティアとしてサポートし、共に活動することで、若者自身の居場所ともなることを目指しています。高校生・大学生は、サポート役		



	であると同時に、自分たちの居場所としても利用できる環境を提供し、地域全体で支え合う仕組みを作ります。さらに、地域の大人のサポートも受けられるようにし、世代を超えた協力体制を築きます。 ④ 親かゝえ 障がいのあるお子さんを育てる親や、不登校や行き渋りに悩んでいる親御さんたちが気軽に集まり、情報や思いを共有する場です。親同士の交流を通じて、メンタルサポートと情報提供を行い、地域全体で支え合うコミュニティづくりを進めます。 ⑤ 居場所づくりの中で、メンタルケアとコミュニケーションの促進を意識したプログラムとして、手話を交えた絵本読み聞かせ（講師：水野みどり氏）や、ボードゲームを通じた交流活動（協力：恵庭ふぁみぼ・ファミリーボードゲーム会）を実施します。これらの活動を通じて、参加者が自然な形で心を開き、安心して過ごせる居場所を提供するとともに、世代や立場を超えた相互理解とつながりを育むことを目指します。 【講演会の開催】 地域全体で孤独・孤立の問題を理解し、支援の輪を広げるために、以下の2つの講演を開催します。これにより、居場所づくりの重要性を市民に広く伝え、地域社会全体で支え合う文化を育むことを目指します。 ① 北海道ヤングケアラー相談サポートセンター センター長 加藤 高一郎氏 一般社団法人 北海道ケアラース 代表理事 北海道ケアラー支援推進協議会構成員 北海道ケアラー支援推進センター運営委員兼地域アドバイザー 社会福祉士・介護支援専門員・保育士 ② 美唄すすらん病院クリニック 副院長 福場 将太氏 プロフィール: 1980年広島県呉市生まれ。広島大学附属高等学校を経て、2005年東京医科大学医学部を卒業。翌年医師免許を取得し、江別すすらん病院（江別市）の前身である美唄希望ヶ丘病院に着任。現在は系列の美唄すすらんクリニックの副院長を務める傍ら、週に1度、江別すすらん病院に勤務。 著書: 『目の見えない精神科医が、見えなくなって分かったこと』 （サンマーク出版、2024年） 本書では、視力を失った精神科医としての経験をもとに、見えることと見えないことの意味、そして人生の希望について綴られています。 https://www.sunmark.co.jp/detail.php?csid=4173-6 https://micro-world-presents.net/ この講演では、ケアラー・ヤングケアラー、精神保健福祉や依存症に関する理解を深め、地域における居場所づくりの重要性についてお話し頂く予定です。 日程、テーマなどは講師と調整の上決定いたします。 参加費は無料 開催場所は恵庭市内の公共施設を予定しています。
提案事業の目的及び期待される効果	【提案事業の目的】 本事業の目的は、地域の孤独や孤立を防止し、困難を抱える市民に対して安心して集える場所を提供することです。障がいの有無、年齢、背景を問わず、すべての市民が参加し、支え合うコミュニティを形成することを目指します。また、地域全体でケアラーやヤングケアラーの支援を強化し、地域社会の理解促進を図ります。 【期待される効果】

	○孤独・孤立の予防 各種居場所を提供することで、孤独や孤立を感じている市民が安心して参加できる場を得られるようになります。これにより、社会的孤立を防ぎ、精神的・身体的な健康を維持することが期待されます。 ○地域の理解促進 「居場所ふれあいサロンおはな」や「親かふえ」などの活動を通じて、障がいや依存症、育児の悩みなどへの理解を深め、市民間の偏見や誤解を解消することが期待されます。地域全体が共感し、支え合う文化を築くことができます。 ○支援の輪の拡大 高校生・大学生のボランティア活動や、地域での講演会を通じて、支援の輪が広がります。若者が支援者としての意識を持ち、将来的には地域での支援活動がさらに活発になることが期待されます。 ○ケアラーやヤングケアラーへの支援強化 特に、依存症家族会や親かふえなど、ケアラーやヤングケアラーを対象とした居場所が設けられることで、日々の支援活動が軽減され、ケアラー自身の心のケアや情報提供が進むことが期待されます。 ○社会的なつながりの強化 本事業を通じて、市民同士のつながりが強化され、地域社会全体で問題解決に取り組む姿勢が浸透します。これにより、地域の課題解決力が向上し、より住みやすい社会づくりが実現します。 ○講演会 この講演会を通じて、地域全体で孤独や孤立の問題への理解が深まり、ケアラーや依存症に対する偏見や誤解を取り除くことが期待されます。また、居場所づくりの大切さを共有することで、地域で助け合う関係が広がり、新たな支援のつながりを生み出すきっかけとなることを目指します。
提案事業の 役割分担	申請団体が担う役割 居場所提供の運営・企画、講演会の企画・実施、講師・会場の連絡調整、ボランティアの募集・調整 担当課が担う役割 広報活動のサポート、事業の運営サポート 連携団体が担う役割
添付書類	(1) 団体概要調書（様式第2号） (2) まちづくりチャレンジ協働事業補助金収支予算書（様式第3号） (3) 規約、会則又は定款及び役員名簿等の写し (4) 提案回数が4回目以上の場合は、団体の前年度事業報告、前年度の決算書、本年度の予算書

団体概要調書

団 体 名	(ふりがな) とくていひえいりかつどうほうじん おはな			
	特定非営利活動法人 おはな			
代表者氏名	(ふりがな) いしがみ かずみ			
	石上 一美			
事務所の所在地				
	電 話		FAX	無し
連絡先	※連絡責任者の氏名⇒この申請内容について対応できる方			
	氏 名	(ふりがな) いしがみ かずみ	電 話	
		石上 一美	FAX	無し
設立年月日	2020 年 4 月 24 日		会員数	10名
メールアドレス				
団体ホームページ	http://www.ohana13.com/			
団体の目的	地域で暮らすさまざまな悩みや問題を抱えている子育て世代、障害者、若者及びその家族等が、気軽に集える居場所としてサロンを開設し、地域住民からからの相談や、育児の悩み、ひきこもり等昨今の地域住民等が抱えるさまざまな悩みに対する家族支援等の事業を広く行い、現代社会における教育問題や社会問題の改善ならびに社会全体の利益に寄与することを目的とする。			
主な活動内容及び実績	●患者・家族遺族会 ●シッター・送迎・家事代行サービス ●カウンセリング・不登校訪問支援 ●セミナー・研修の企画運営など まちチャレ助成金事業 2020年度 がんサロン「サロンおはな～がん患者家族遺族会～」 2021年度 がんサロン「サロンおはな～がん患者家族遺族会～」 2022年度 依存症予防啓発普及事業 2023年度 依存症予防啓発普及事業 2024年度 依存症予防啓発普及事業			
市や国・道、他の団体から受けている補助金等	・有 [補助金等の名称:] [金額:] ☒ 無			

様式第3号（第4条関係）

まちづくりチャレンジ協働事業補助金収支予算書

団 体 名	特定非営利活動法人おはな
協働事業の名称	居場所づくり Ohana つながりサポート事業

1. 収 入

（単位：円）

項 目	金 額	説 明（積算等）
補助金	100,000	まちチャレ補助金
負担金	30,000	特定非営利活動法人おはな
合 計	130,000	

2. 支 出

（単位：円）

項 目	金 額	説 明（積算等）
謝金	90,000	講師謝金5名分
施設使用料	10,000	公共施設使用料（えにあす）、機材ほか
印刷費	20,000	チラシ・ポスター・横断幕印刷
消耗品	10,000	養生テープ、看板、プリンターインク、コピー用紙他
合 計	130,000	

備考）補助金の交付対象となる事業に要する経費を記入してください。なお、実績報告書の提出時に「まちづくりチャレンジ協働事業補助金収支決算書（様式第14号）」とともに領収証の写しを添付する必要があります。